

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年2月12日
【四半期会計期間】	第54期第3四半期（自平成24年10月1日至平成24年12月31日）
【会社名】	名糖運輸株式会社
【英訳名】	MEITO TRANSPORTATION CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中西 広明
【本店の所在の場所】	東京都武蔵野市中町二丁目4番5号
【電話番号】	（0422）54-8803（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長兼経営企画部長 武藤 彰宏
【最寄りの連絡場所】	東京都武蔵野市中町二丁目4番5号
【電話番号】	（0422）54-8803（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長兼経営企画部長 武藤 彰宏
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第53期 第3四半期 連結累計期間	第54期 第3四半期 連結累計期間	第53期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年12月31日	自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
営業収益（千円）	34,652,600	34,363,706	44,717,198
経常利益（千円）	932,303	1,009,029	507,221
四半期（当期）純利益（千円）	311,880	646,795	7,098
四半期包括利益又は包括利益（千円）	281,084	634,851	3,527
純資産額（千円）	11,461,204	11,657,527	11,183,647
総資産額（千円）	28,193,398	28,191,496	28,205,734
1株当たり四半期（当期）純利益金額（円）	29.07	60.28	0.66
潜在株式調整後1株当たり四半期（当期） 純利益金額（円）	-	-	-
自己資本比率（％）	40.7	41.4	39.7

回次	第53期 第3四半期 連結会計期間	第54期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年10月1日 至平成23年12月31日	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期純損失金額（ ）（円）	15.99	9.43

（注）1．当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2．営業収益には、消費税等は含まれておりません。

3．潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要などもあり、国内需要は緩やかに持ち直しているものの、円高や欧州の債券問題を背景にした金融市場の動揺、中国経済の成長鈍化等の影響もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当グループが主たる市場としておりますチルド食品物流業界は、個人消費の停滞が長期化し消費者の生活防衛意識や節約志向が一層高まっており、依然として厳しい経営環境で推移しております。

こうした状況のもと、当グループは今年度スローガンとして「磨け品質 勝ち取れ信頼」を掲げ、安全確保と高品質な物流を基本とし、品質マネジメントシステムを確実に運用し、「品質の名糖」の評価を更に高めるとともに環境マネジメントシステムの運用により環境にも配慮した企業活動を展開し「CHILLED LINE MEITO」のブランド力を向上させ顧客の信頼を得てまいりました。

営業収益につきましては、大手食品会社の業務受託、既存食品メーカーの業務拡大があったものの、既存食品メーカーの物量の減少やコンビニエンス事業の再編等により減収となりました。また、営業利益及び経常利益につきましては、労務費等の削減に努めたことにより、前年同期を上回ることとなりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は343億63百万円（前年同期比0.8%減）と前年同期と比較して2億88百万円の減収、営業利益は8億87百万円（同3.5%増）、経常利益は10億9百万円（同8.2%増）、四半期純利益は6億46百万円（同107.4%増）となりました。

なお、当グループにおいては、物流事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,600,000
計	25,600,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年2月12日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引 業協会名	内容
普通株式	11,000,000	11,000,000	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数100 株であります。
計	11,000,000	11,000,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年10月1日～ 平成24年12月31日	-	11,000,000	-	2,176,900	-	1,868,430

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 270,200	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 10,728,500	107,285	-
単元未満株式	普通株式 1,300	-	-
発行済株式総数	11,000,000	-	-
総株主の議決権	-	107,285	-

（注）「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式5株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数（株）	他人名義 所有株式数（株）	所有株式数 の合計（株）	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合（％）
名糖運輸株式会社	東京都武蔵野市中 町二丁目4番5号	270,200	-	270,200	2.45
計	-	270,200	-	270,200	2.45

（注）当第3四半期会計期間において、単元未満株式の買取請求がされ自己株式が41株増加し、平成24年12月31日現在の自己保有株式数は270,246株となっております。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の役職の異動は、次のとおりであります。

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
取締役	(株)トランスメイト 代表取締役社長	取締役	情報システム部管掌 兼東 日本事業部長	武淵 晴好	平成24年9月1日
取締役	広域事業部長	取締役	営業本部副本部長 兼営 業一部長	小峯 稔	平成24年9月1日
取締役	統括事業部長兼統括事業部 第1グループ長	取締役	(株)トランスメイト 代表 取締役社長	林 義弘	平成24年9月1日

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,542,714	2,535,877
営業未収金	5,183,105	5,710,887
原材料及び貯蔵品	26,488	23,151
繰延税金資産	302,246	133,714
前払費用	260,415	217,786
その他	192,909	94,700
貸倒引当金	41	-
流動資産合計	8,507,838	8,716,118
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	972,955	1,038,208
建物及び構築物(純額)	7,257,440	7,022,603
土地	5,230,090	5,230,090
その他(純額)	810,614	818,971
有形固定資産合計	14,271,100	14,109,873
無形固定資産	306,068	262,040
投資その他の資産		
投資有価証券	1,412,450	1,462,643
繰延税金資産	1,498,712	1,521,907
敷金及び保証金	1,323,453	1,285,494
その他	886,110	833,417
貸倒引当金	0	-
投資その他の資産合計	5,120,726	5,103,463
固定資産合計	19,697,895	19,475,378
資産合計	28,205,734	28,191,496

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	1,629,681	1,800,668
短期借入金	3,664,000	3,066,000
1年内返済予定の長期借入金	976,310	1,048,584
未払法人税等	92,886	122,215
未払費用	1,278,659	1,334,105
賞与引当金	534,000	214,722
役員賞与引当金	47,649	32,753
その他	895,984	1,026,619
流動負債合計	9,119,172	8,645,668
固定負債		
長期借入金	2,836,813	2,825,260
退職給付引当金	3,494,168	3,591,757
資産除去債務	464,322	445,639
その他	1,107,610	1,025,642
固定負債合計	7,902,914	7,888,299
負債合計	17,022,086	16,533,968
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,176,900	2,176,900
資本剰余金	1,868,430	1,868,430
利益剰余金	7,551,890	8,037,738
自己株式	309,611	309,635
株主資本合計	11,287,609	11,773,432
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103,961	115,904
その他の包括利益累計額合計	103,961	115,904
純資産合計	11,183,647	11,657,527
負債純資産合計	28,205,734	28,191,496

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
営業収益	34,652,600	34,363,706
営業原価	32,599,227	32,379,440
営業総利益	2,053,373	1,984,265
販売費及び一般管理費	1,196,056	1,096,786
営業利益	857,316	887,478
営業外収益		
受取利息	6,369	5,475
受取配当金	13,185	13,114
持分法による投資利益	46,351	63,149
その他	118,302	136,056
営業外収益合計	184,207	217,795
営業外費用		
支払利息	80,316	69,486
支払手数料	-	17,490
その他	28,903	9,268
営業外費用合計	109,220	96,245
経常利益	932,303	1,009,029
特別利益		
固定資産売却益	19,428	52,436
特別利益合計	19,428	52,436
特別損失		
固定資産除売却損	4,295	626
投資有価証券評価損	88	-
ゴルフ会員権評価損	2,760	1,500
訴訟損失引当金繰入額	13,061	-
割増退職金	32,386	896
災害による損失	4,452	-
事業所閉鎖損失	46,276	-
特別損失合計	103,321	3,023
税金等調整前四半期純利益	848,410	1,058,442
法人税、住民税及び事業税	211,363	259,778
法人税等調整額	325,166	151,868
法人税等合計	536,530	411,647
少数株主損益調整前四半期純利益	311,880	646,795
四半期純利益	311,880	646,795

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	311,880	646,795
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	30,821	11,771
持分法適用会社に対する持分相当額	25	172
その他の包括利益合計	30,795	11,943
四半期包括利益	281,084	634,851
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	281,084	634,851
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当グループは、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 これにより、従来の方と比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ21,895千円増加しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
減価償却費	1,023,519千円	982,481千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月28日 定時株主総会	普通株式	160,946	15	平成23年3月31日	平成23年6月29日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	160,946	15	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当グループは、「物流事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	29円7銭	60円28銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	311,880	646,795
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	311,880	646,795
普通株式の期中平均株式数(株)	10,729,795	10,729,791

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 2 月 8 日

名糖運輸株式会社
取締役会 御中

太陽 A S G 有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	並木 健治 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	中野 秀俊 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	土居 一彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている名糖運輸株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、名糖運輸株式会社及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1 . 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2 . 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。